

SERIES **総合型地域スポーツクラブ**

スポーツのさらなる発展を目指して

楽々クラブ矢巾 会長 工藤 真理子

「楽々クラブ矢巾」は、矢巾町に総合型地域スポーツクラブを平成21年4月に設立する目的で、平成19年6月に行政・矢巾町体育協会・既存のスポーツサークルなどが母体となり、(仮)やまゆりスポーツクラブ設立準備委員会として設立。それから2年後の設立に向けて、当初は行政と体育協会が連携しながら体育協会主導型として活動を行い、平成21年3月の設立総会で体育協会から独立し、矢巾町民のみなさんの支持を得て、名前も新たに「楽々クラブ矢巾」として始動いたしました。

運営にあたり、矢巾町社会教育課・矢巾町体育協会・矢巾町体育指導委員に加え、運営に賛同していただいたサークル関係者には運営委員として引き続き協力していただき、各種教室やスポーツイベント等の企画運営に携わっていただいております。また、クラブ内でのスポーツリーダーバンクに登録して、実際の指導者としても関わっていただいております。

【会員について】

(平成21年度総合型地域スポーツクラブ活動状況調査回答より)

- (1) 総会員数 **223人** (7/1 現在)
- (2) 内 訳

	未就学児	小学生	中学生	高校生	~29歳	~39歳	~49歳	~59歳	~69歳	70歳~	合計
男性	0	40	0	0	0	3	2	2	17	24	88
女性	0	14	0	0	0	4	14	23	57	23	135
合計	0	54	0	0	0	7	16	25	74	47	223

活動内容については、子どもから高齢者まで、誰もがいつでも、スポーツを気軽に楽しめる環境づくりと、その活動を通して「健康・仲間・地域づくり」を図り、地域社会における生涯スポーツの発展を目指し活動を行っています。実際の内容は主にスクール事業・サークル事業・交流イベントの3つに分けることができ、本年度は小学生対象のスクール事業として、春の運動会シーズンに合わせた「かけっこ教室」の開催を皮切りに、会員のニーズに応えるとともに町内のスポーツ団体などと連携、調和を図りながら活動運営を行っています。また過日、小・中学生を対象に、地元の不来方高等学校で開催された「ホッケー体験教室」では、トキめき新潟国体ホッケー成年男子で選手兼監督として活躍された不来方高等学校教諭岩館直也氏を講師に迎え、ホッケー部員のみなさんの協力もあり、受講者はホッケー競技の魅力を堪能することができ、大変好評でありました。この他にも各種教室・イ

ベントを支えていただいている指導者を対象した指導者講習会も開催し、スポーツ指導者の育成に努めています。

【活動内容】(抜粋)

- スクール事業
 - ・かけっこ教室(全1回)
 - ・ウォーキング教室
 - ・ハワイアンフラダンス教室(1~3期)
 - ・高齢者健康体操教室(1~3期)
 - ・ラテンエクササイズ(1~2期)
 - ・グランドゴルフ(毎週火曜日)
 - ・楽々、チビッツピンポン教室(各1回)
 - ・太極拳教室(全4回)
 - ・グランドホッケー体験教室(全2回)
 - ・ニュースポーツ教室
 - ・指導者講習会
 - ・体力測定会



○サークル事業(現在4団体)

- ・エアロビクス
- ・バウンドテニス
- ・卓球
- ・シルバースポーツ



○交流イベント

- ・チビッツソフトボール交流会(年1回)
- ・ウォーキング(春・夏・秋)

現在、活動を始めて6ヶ月過ぎましたが、未だ総合型地域スポーツクラブの認知度は低く、矢巾町内でも「楽々クラブ矢巾」の存在も広く知られているとは言えない状況です。特に会員の内訳から見られるように、中学生~30歳代の中間層の会員が非常に少ない状態にあります。今後、中間層にも受け入れられる内容を企画するとともに、町内に在住する各種指導者を発掘・依頼するなど、将来的にはスポーツ人口の増加と多様なニーズに対応できる環境づくりを目指して行きます。

矢巾町は現在「日本一健康な町」を目指しております。楽々クラブ矢巾の活動が矢巾町民のみなさんの健康づくりに少しでもお役に立てるように活動して参ります。